

脳梗塞の再発が心配

Q 70代男性です。最近、軽い脳梗塞になり入院しました。寝たきりになったり、認知症になったりしたら、幸い、後遺症もほとんどなく退院しました。今後はずっと薬を飲んで病院へ通うよう

にいわれましたが、将来、脳梗塞が再発して寝たきりになったり、認知症になったりしたら、これを機会にしっかりと予防を心掛けてください。

22

A 脳梗塞の再発率は年間5〜10%といわれています。1度、脳梗塞になった人は、そうでない人より再発の危険は高いといえます。脳梗塞は片まひや失語症などの後遺症を残す可能性があり、寝たきりや認知症の原因になりますから、予防が何より大切です。健

康な人は脳梗塞の予防といっても実感がありませんが、脳梗塞が軽くて済んだのであれば、これを機会にしっかりと予防を心掛けてください。

健康110番

国際医療福祉大学病院です



加藤宏之 神経内科部長

基礎疾患と服薬を管理

年齢とともに全身の血管に動脈硬化が進むことによって起こる病気で、脳梗塞の予防の第1のポイントは、これらの基礎疾患をしっかりコントロールすることです。

年を取るとともに全身の血管に動脈硬化が進むことが、生活習慣病のコントロールは可能です。高血圧や糖尿病と診断されたら、主治医の勧めに従ってしっかりと治療を受けることが大切

です。自分の血圧や血糖値を自分でも知って、自ら管理する心構えが、長年にわたる治療には必要です。脳梗塞を1度経験した患者さんには、再発予防のために、いわゆる

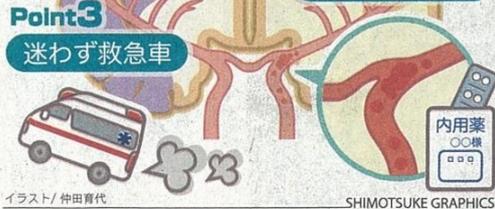
血液がサラサラになります。それぞれ異なる薬ですから、病院でしっかりと脳梗塞の病型診断を受けて、病状に合った薬を服用する必要があります。

血液がサラサラになれば血管は詰まりにくくなりますが、効き過ぎれば出血しやすくなりますから、主治医に定期的にチェックしてもらふ必要があります。手術や検査によっては薬を一時中止しなければならぬ場合もありますので、主治医と緊密な連携が必要です。

Point 1 基礎疾患のコントロール



Point 2 症状に合った薬



イラスト/ 仲田育代

SHIMOTSUKE GRAPHICS

脳梗塞には、動脈硬化を起こした脳の血管が詰まる脳血栓症と、心房細動などの心臓病があり、心臓でできた血の塊が脳の血管に詰まる脳塞栓症があります。脳血栓症では抗血小板薬が、脳塞栓症では抗凝固薬が処方され

ます。それぞれ異なる薬ですから、病院でしっかりと脳梗塞の病型診断を受けて、病状に合った薬を服用する必要があります。



日掲載

（第2、4、5木曜）
（神経内科部長・神
経難病センター長 加
藤宏之）